

## 医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	初発肝癌の特徴の経時的推移の検討
所属科*	消化器内科
研究責任者*	法水 淳
研究実施期間	開始 西暦 実施承認後 ~ 終了 西暦 2028年 12月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	肝癌 (当院 180 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 実施承認後 ~ 至 西暦 2028年 12月 31日 (予定)
研究概要*	<p>肝癌は肝炎ウイルスの感染を背景とすることが多く、発癌抑制のため肝炎ウイルスの制御が発癌予防として実施されてきた。昨今、B型肝炎ウイルスは核酸アナログ製剤によりウイルス抑制が得られるようになり、C型肝炎ウイルスは抗ウイルス療法によりウイルス排除が得られるようになった。そのため肝癌の背景肝疾患におけるウイルス性肝炎の比率は低下し、非ウイルス性肝癌の比率が相対的に増加している。また肝炎ウイルス制御下からの発癌も認められ、肝炎ウイルスの排除・抑制下においても肝癌発生が認められ、肝炎ウイルス制御が発癌を十分に抑制していない側面もある。このように肝癌の背景肝疾患は経年的に変化しているが、肝癌の背景因子におけるウイルス性肝炎の制御の有無を含め、肝疾患進展例における予後改善効果や発癌抑制効果については明らかではない。さらに背景肝疾患の差異が肝癌初発診断時の進行度に関連しているかどうかは明らかではない。</p> <p>本研究では、背景肝疾患の経時的変化とともに肝癌診断時の進行度を含め解析することにより、肝発癌リスクの囲い込みならびに早期診断・治療介入への対策を明確にすることを目的とする。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにするこ

別紙第2号様式

	とは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 消化器内科 法水 淳